



チャレンジ！跳び箱



6月30日の朝、始業前に体育館に5年生の姿がありました。何やら準備をしているようです。その答えが分かったのは、体育。跳び箱の授業の準備だったのです。体育館内には、様々な高さや配置の跳び箱があり、各自がめあてとする技に挑戦するというものでした。準備運動の後には、ステージの段差を使ってステージ上に跳び上がる練習や、ステージ上から回転して下りるといったウォーミングアップ。その後、自分のチャレンジする技によって、場所を選んで練習していきます。

授業の中、先生が大切にしていたのが「場の設定」と「学習規律」でした。「無理」とあきらめさせるのではなく、「ここならできそう」という個に応じた場の設定をすること、そして、話がきちんと聞けないと、けがにつながることから、動きを止めて聞くこと等、指導の工夫や徹底が見られました。

今年度、5年生の体育には、中学校からの乗り入れとして森重先生が入ってくださっています。担任との複数指導により、安全面に気を配りながら、的確なアドバイスのもと、子供達は意欲的に目指す技に挑戦していました。かかえ込み跳びや頭はね跳び等、先生の示範も子供達の意欲を掻き立てているようでした。

授業後には、ほとんどの児童が新しい技ができるようになったと振り返っていました。



ステージとの段差を使った練習



床からステージに跳び上がる練習



森重先生による頭はね跳びの示範



子供達も意欲的に技にチャレンジ



個に応じたアドバイスと支援



ほどよい緊張感が安全を生む



めあて達成を振り返り、満足